

## 令和7年火災・救急概況（速報）

～令和7年1月1日から令和7年12月31日まで～

## ① 火災件数が大幅に増加し、複数の項目が過去10年で最多を記録

- 全火災件数は779件で、前年から101件増加しました。一方で、焼損床面積は約1,000m<sup>2</sup>減少しました。
- 建物火災（494件）、建物火災のうちの住宅火災（322件）、電気火災（※）（223件）は、いずれも過去10年で最多となりました。
- 電気火災のうち、リチウムイオン電池関連火災は67件で、過去最多となりました。

## ② 救急出場件数・搬送人員ともに5年ぶりに減少

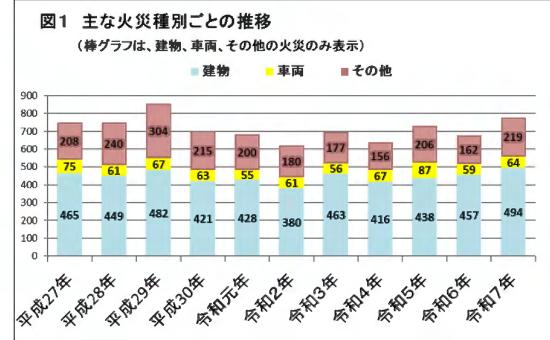
- 救急出場件数は245,321件で、前年と比べて11,160件（4.4%）減少しました。
- 搬送人員は199,882人で、前年と比べて7,589人（3.7%）減少しました。
- 救急出場・搬送人員ともに5年ぶりに減少しました。

※電気火災とは、電気をエネルギーとする機器や用品、設備などが発火源となった火災です。

## 1 火災の概況（詳細は、別添資料1参照）

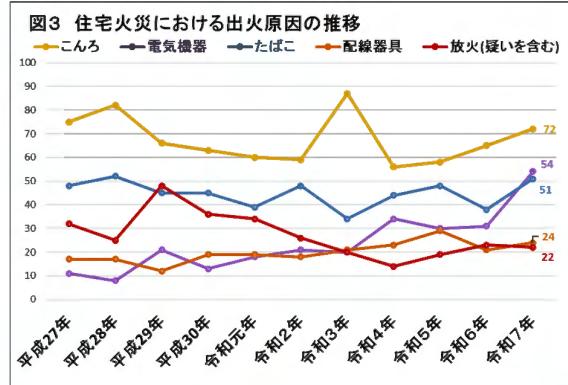
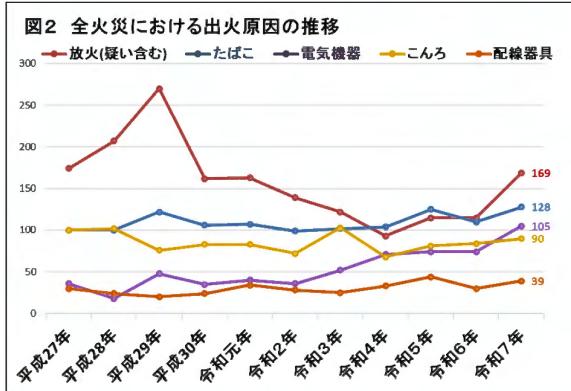
## (1) 火災件数【図1】

- 全火災件数は779件で、前年と比べて101件増加した一方で、焼損床面積は5,813m<sup>2</sup>で、前年と比べ1,033m<sup>2</sup>減少しました。
- 火災種別ごとにみると、建物火災は494件（前年比37件増）、車両火災は64件（同5件増）、船舶火災は2件（同2件増）、その他の火災は219件（同57件増）となりました。
- 建物火災のうち住宅火災は322件（同32件増）でした。



## (2) 主な出火原因【図2】【図3】

- 全火災の出火原因第1位は、「放火（疑い含む）」169件（前年比54件増）で、次いで「たばこ」128件（同18件増）、「電気機器」105件（同31件増）となりました。
- 住宅火災の出火原因第1位は、「こんろ」72件（同7件増）で、次いで「電気機器」54件（同23件増）、「たばこ」51件（同13件増）となりました。



裏面あり

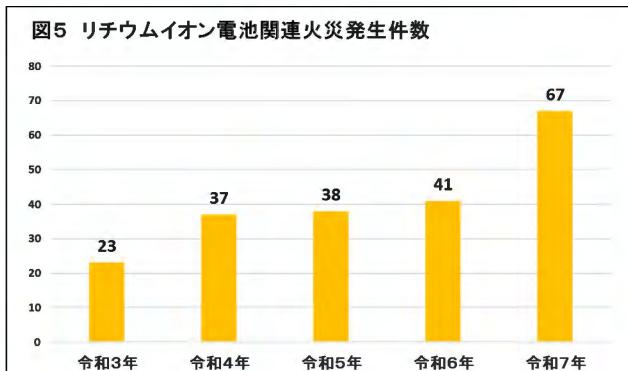
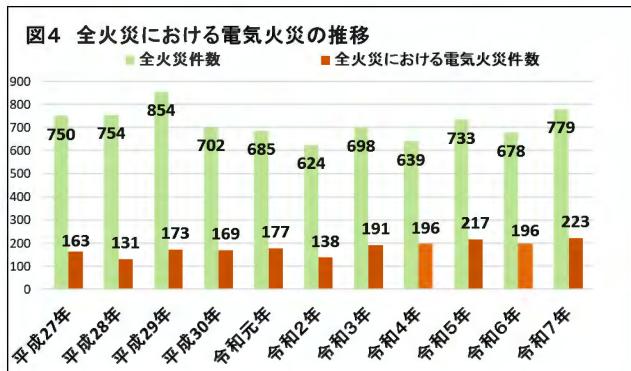
GREEN × EXPO 2027  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷



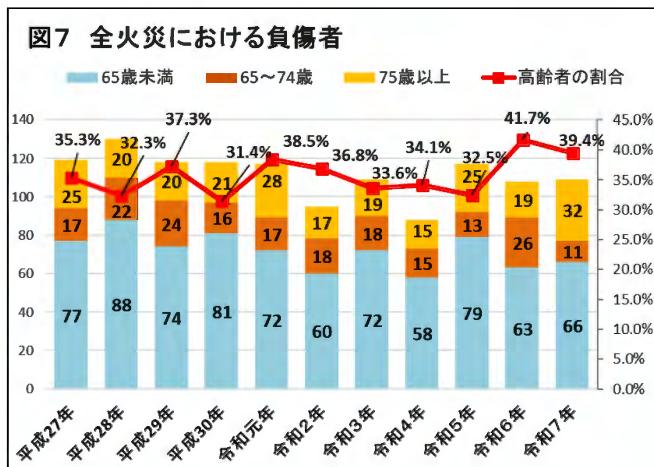
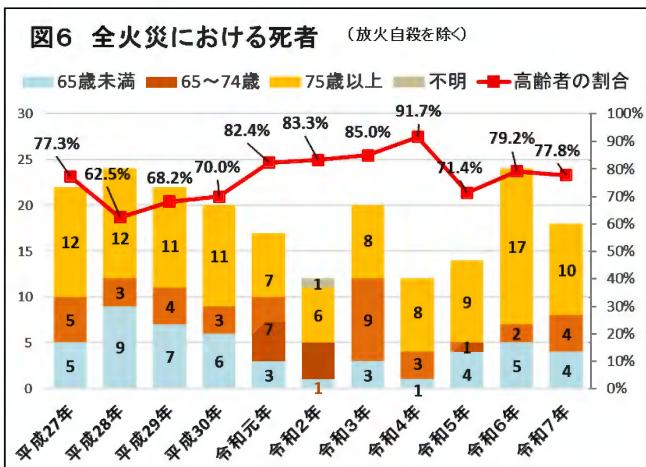
### (3) 電気火災及びリチウムイオン電池関連火災【図4】【図5】

- 全火災のうち223件(28.6%)が「電気火災」で、過去10年で最多となりました。出火原因別では、モバイルバッテリーや電子レンジなどを発火源とする電気機器が105件(前年比31件増)でこちらも過去10年で最多となり、テーブルタップなどを発火源とする配線器具が39件(同9件増)となりました。
- リチウムイオン電池に起因した火災は67件(同26件増)で、統計を取り始めた令和3年以降、過去最多となりました。



### (4) 火災による死者及び負傷者【図6】【図7】

- 放火自殺を除く全火災の死者は18人(前年比6人減)で、過去10年平均から1人減少し、そのうち14人(77.8%)が65歳以上の高齢者でした。また、全員が住宅火災でお亡くなりになりました。
- 火災による負傷者は109人(同1人増)で、過去10年平均から3人減少し、そのうち43人(39.4%)が65歳以上の高齢者でした。また、86人(78.9%)が住宅火災で負傷しました。



#### 火災を起こさないために！今できる防火対策

##### ○ 住宅火災出火原因ワースト1！こんろ火災対策

こんろ使用時は、着衣着火を防ぐために、袖や裾の広がった服は避けましょう。  
また、油の発火や空焚きを防ぐため安全機能(Siセンサー)付きのこんろを使用し、  
調理中はその場を絶対に離れないようにしましょう。

##### ○ 冬に急増！ストーブ火災対策

ストーブの近くに燃えやすいものを置かないようにしましょう。  
また、外出時や就寝時は、必ず消しましょう。

#### リチウムイオン電池火災にご注意ください！

##### ○ リチウムイオン電池は、充電して繰り返し使える小型で軽量な電池で、モバイルバッテリーやスマートフォンなど、身近な電子機器に広く利用されています。しかし、誤った使い方や劣化した製品を使用し続けると、火災が発生する恐れがあります。

こんな時は危険！1つでも当てはまる場合は、火災の危険があります！今すぐチェックしましょう✓

□熱がこもりやすい場所で使用している □膨らみ、変形している □過去に落下させたことがある

□使用中や充電中に発熱があることがある □充電できないなどの不具合がある □PSEマークがない

より詳しい防火対策は、  
よこはま防災e-パークで  
チェック！▼▼▼



**GREEN × EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

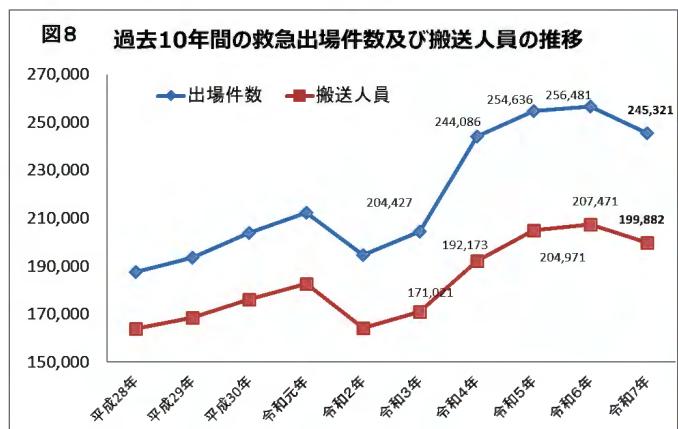
2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



## 2 救急の概況（詳細は、別添資料2参照）

### (1) 救急出場件数及び搬送人員【図8】

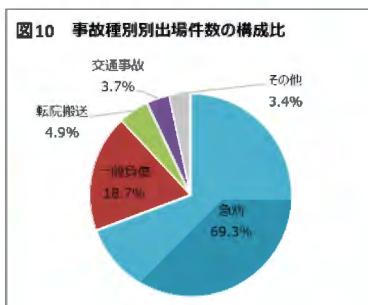
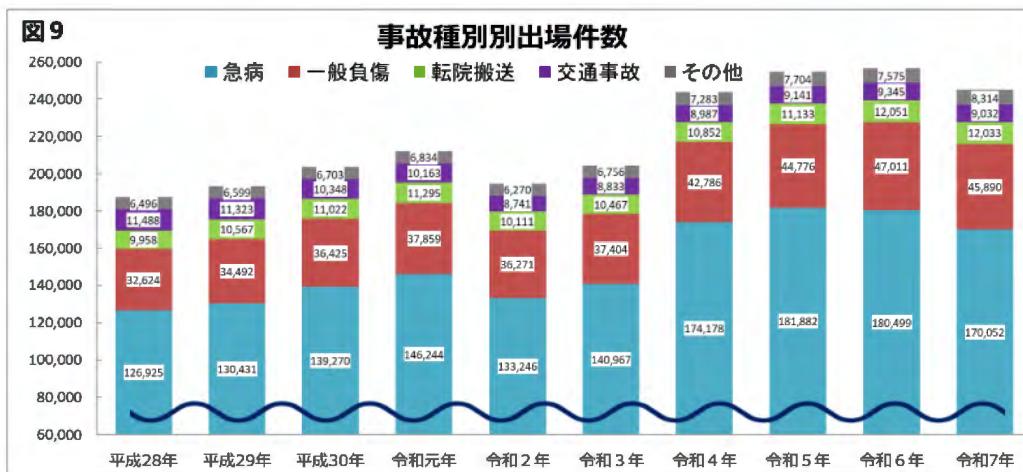
- 救急出場件数は245,321件（前年比11,160件減）となりました。
- 搬送人員は199,882人（同7,589人減）となりました。
- 1日あたりの平均救急出場件数は672件（同29件減）となりました。
- 2分8秒に1回救急車が出場していることになります（前年は2分4秒に1回）。
- 市民の15人に1人が救急車を利用されたことになります。



### (2) 事故種別別出場件数【図9】【図10】

- 事故種別ごとの救急出場件数は、「急病」が170,052件（前年比10,447件減）で最も多く、次いで「一般負傷※」が45,890件（同1,121件減）、「転院搬送」が12,033件（同18件減）、「交通事故」が9,032件（同313件減）となりました。

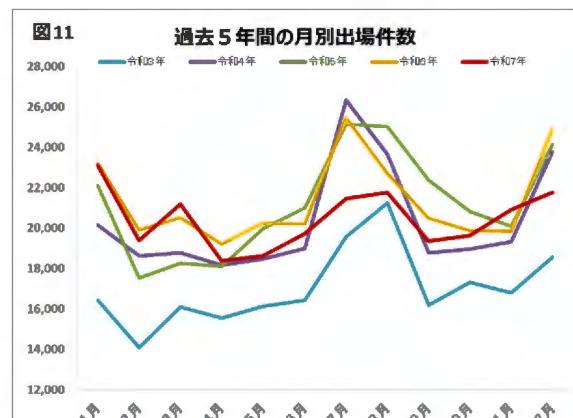
※一般負傷：「労働災害や運動競技等に分類されない不慮の事故」をいい、転倒・転落、やけど等が該当します。



### (3) 月別出場件数【図11】

- 1か月あたりの平均救急出場件数は20,443件（前年比930件減）となりました。
- 1月が23,121件（同71件減）で最も多く、次いで8月が21,775件（同938件減）、12月が21,757件（同3,100件減）となりました。熱中症による搬送者が増加した時期や感染症が流行した時期に、救急要請が多くなる傾向がみられました。

|      | 1月       | 2月      | 3月      | 4月      | 5月      | 6月       |
|------|----------|---------|---------|---------|---------|----------|
| 令和7年 | 23,121件  | 19,400件 | 21,176件 | 18,379件 | 18,613件 | 19,726件  |
| 令和6年 | 23,192件  | 19,896件 | 20,510件 | 19,219件 | 20,230件 | 20,226件  |
| 増減比  | △ 0.3 %  | △ 2.5 % | 3.2 %   | △ 4.4 % | △ 8.0 % | △ 2.5 %  |
|      | 7月       | 8月      | 9月      | 10月     | 11月     | 12月      |
| 令和7年 | 21,449件  | 21,775件 | 19,371件 | 19,638件 | 20,916件 | 21,757件  |
| 令和6年 | 25,442件  | 22,713件 | 20,480件 | 19,883件 | 19,833件 | 24,857件  |
| 増減比  | △ 15.7 % | △ 4.1 % | △ 5.4 % | △ 1.2 % | 5.5 %   | △ 12.5 % |



裏面あり



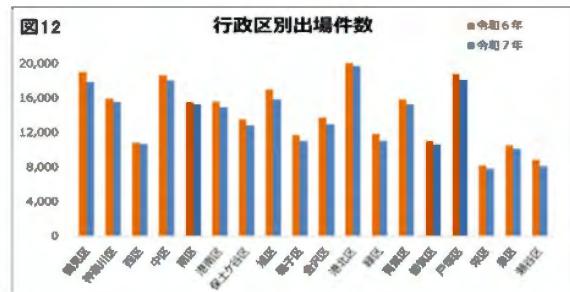
GREEN × EXPO 2027  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



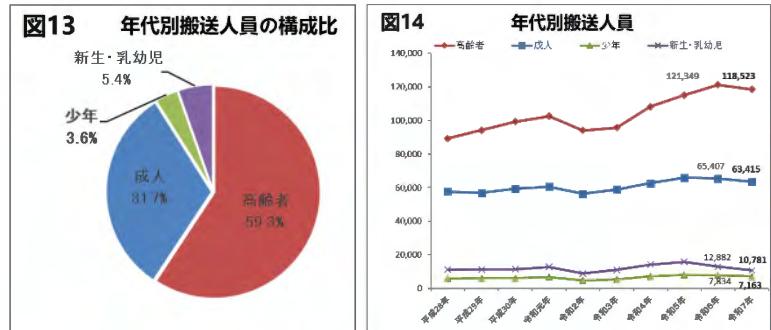
#### (4) 行政区別出場件数【図12】

- 行政区別の救急出場件数は、港北区が 19,677 件で最も多く、次いで戸塚区が 18,065 件、中区が 17,996 件となりました。
- 前年と比べて、全区で救急出場件数が減少し、減少数が最も多かったのは、旭区の 1,172 件で、減少割合が最も大きかったのは、瀬谷区の 7.9% でした。



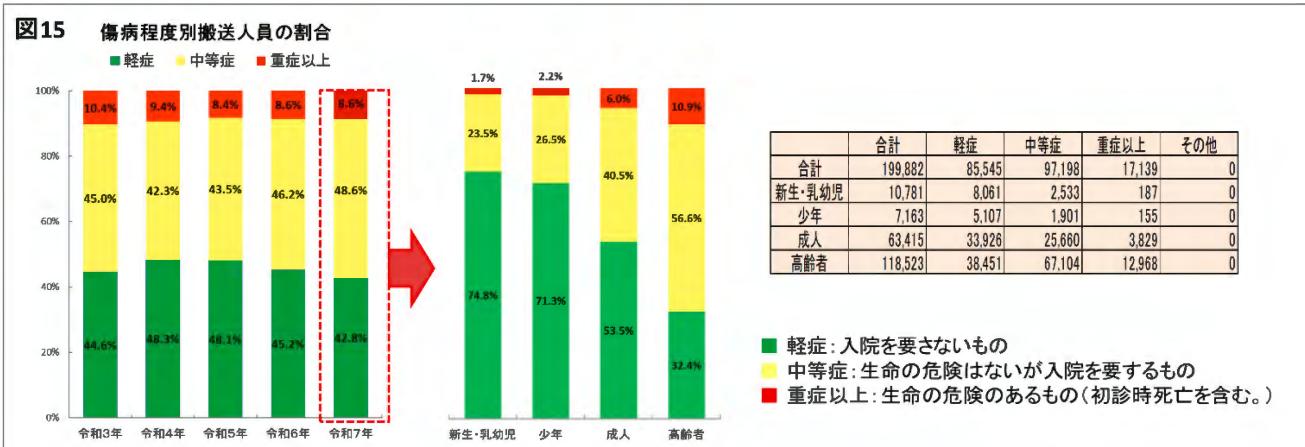
#### (5) 年代別搬送人員【図13】【図14】

- 前年と比べて全年代で減少しました。
- 年代別の搬送人員では、65 歳以上の「高齢者」が 118,523 人 (59.3%) と最も多く、次いで 18 歳以上 65 歳未満の「成人」が 63,415 人 (31.7%)、7 歳未満の「新生・乳幼児」が 10,781 人 (5.4%)、7 歳以上 18 歳未満の「少年」が 7,163 人 (3.6%) の順となりました。



#### (6) 傷病程度別搬送人員（医療機関初診時）【図15】

傷病程度別の搬送人員は、「中等症」が 97,198 人（前年比 1,443 人増）で最も多く、次いで、「軽症」が 85,545 人（同 8,324 人減）、「重症以上」が 17,139 人（同 704 人減）となりました。



\*グラフ等の割合は小数第2位を四捨五入しているため、表中の合計が 100.0% にならない場合があります。

### あんしん救急-知って予防！救急車

横浜市では、病気やケガの予防策や救急相談センター（#7119）などの相談先、119 番通報が必要な症状といった場面に応じた対応をお知らせする「あんしん救急」の取組により救急車の適正利用を推進しています。

令和 7 年は、市民の皆様にご理解・ご協力いただき、軽症の搬送者が前年より約 1 割（8,324 人）減少しました。

今後も救える命を救うため、救急車の適正利用にご協力をお願いします。



詳しくは  
こちら▶



#### お問い合わせ先

|            |           |       |                  |
|------------|-----------|-------|------------------|
| (火災に関すること) | 消防局予防課長   | 川島 正裕 | Tel 045-334-6601 |
| (救急に関すること) | 消防局救急企画課長 | 谷津 直樹 | Tel 045-334-6771 |



**GREEN × EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



# 火災概況(速報)

## 1 火災種別・損害状況

単位：件

| 区分   | 年別                     | 令和7年  | 令和6年  | 前年比       | 過去10年間の平均    | 増△減  |
|------|------------------------|-------|-------|-----------|--------------|------|
|      |                        | (A)   | (B)   | (A) - (B) | (平成27年～令和6年) |      |
| 火災種別 | 全火災                    | 779   | 678   | 101       | 712          | 67   |
|      | 建物火災                   | 494   | 457   | 37        | 440          | 54   |
|      | 住宅火災                   | 322   | 290   | 32        | 285          | 37   |
|      | 林野火災                   | -     | -     | -         | -            | -    |
|      | 車両火災                   | 64    | 59    | 5         | 65           | △1   |
|      | 船舶火災                   | 2     | -     | 2         | 2            | -    |
|      | 航空機火災                  | -     | -     | -         | -            | -    |
| 損害状況 | その他火災                  | 219   | 162   | 57        | 205          | 14   |
|      | 焼損床面積(m <sup>2</sup> ) | 5,813 | 6,846 | △1,033    | 6,678        | △865 |
|      | 死者(人)                  | 22    | 25    | △3        | 21           | 1    |
|      | 放火自殺者                  | 4     | 1     | 3         | 3            | 1    |
|      | 負傷者(人)                 | 109   | 108   | 1         | 112          | △3   |
|      | 焼損床面積(m <sup>2</sup> ) | 4,008 | 5,674 | △1,666    | 4,185        | △177 |
|      | 死者(人)                  | 18    | 25    | △7        | 19           | △1   |
| 住宅火災 | 放火自殺者                  | -     | 1     | △1        | 1            | △1   |
|      | 負傷者(人)                 | 86    | 80    | 6         | 84           | 2    |

備考 住宅火災の件数は建物火災の内数、住宅火災の損害状況は全火災の損害状況の内数 また、放火自殺者数は死者数の内数 過去10年間の平均の数値は小数点以下を四捨五入してあるので、合計と一致しない場合があります。

## 2 主な出火原因

単位：件

| 区分   | 年別        | 令和7年      | 令和6年      | 前年比       | 過去10年間の平均    | 増△減       |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------------|-----------|
|      |           | (A)       | (B)       | (A) - (B) | (平成27年～令和6年) |           |
| 火災   | 放火(疑いを含む) | 169       | -         | 115       | 156          | 13        |
|      | たばこ       | 128       | -         | 110       | 108          | 20        |
|      | 電気機器      | 105 (105) | 74 (74)   | 31 (31)   | 48 (48)      | 57 (57)   |
|      | こんろ       | 90 (8)    | 84 (6)    | 6 (2)     | 85 (7)       | 5 (1)     |
|      | 配線器具      | 39 (39)   | 30 (30)   | 9 (9)     | 29 (29)      | 10 (10)   |
|      | 上記以外の出火原因 | 248 (71)  | 265 (86)  | △17 (△15) | 285 (90)     | △37 (△19) |
|      | 計         | 779 (223) | 678 (196) | 101 (27)  | 712 (175)    | 67 (48)   |
| 住宅火災 | こんろ       | 72 (6)    | 65 (3)    | 7 (3)     | 70 (6)       | 2 (-)     |
|      | 電気機器      | 54 (54)   | 31 (31)   | 23 (23)   | 44 (21)      | 10 (33)   |
|      | たばこ       | 51        | -         | 38        | 19           | 32 (-)    |
|      | 配線器具      | 24 (24)   | 21 (21)   | 3 (3)     | 31 (20)      | △7 (4)    |
|      | 放火(疑いを含む) | 22        | -         | 23        | 22           | -         |
|      | 上記以外の出火原因 | 99 (38)   | 112 (42)  | △13 (△4)  | 100 (38)     | △1 (-)    |
|      | 計         | 322 (122) | 290 (97)  | 32 (25)   | 285 (85)     | 37 (37)   |

備考 ( )内は電気に起因する火災で各出火原因の内数

過去10年間の平均の数値は小数点以下を四捨五入してあるので、合計と一致しない場合があります。

## 3 行政区別火災発生状況

単位：件

| 区分  | 年別    | 令和7年 | 令和6年 | 前年比       | 過去10年間の平均    | 増△減 |
|-----|-------|------|------|-----------|--------------|-----|
|     |       | (A)  | (B)  | (A) - (B) | (平成27年～令和6年) |     |
| 行政区 | 鶴見区   | 61   | 48   | 13        | 60           | 1   |
|     | 神奈川区  | 39   | 42   | △3        | 45           | △6  |
|     | 西区    | 28   | 38   | △10       | 33           | △5  |
|     | 中区    | 95   | 93   | 2         | 71           | 24  |
|     | 南区    | 56   | 41   | 15        | 40           | 16  |
|     | 港南区   | 35   | 28   | 7         | 36           | △1  |
|     | 保土ヶ谷区 | 41   | 34   | 7         | 35           | 6   |
|     | 旭区    | 45   | 34   | 11        | 43           | 2   |
|     | 磯子区   | 39   | 22   | 17        | 27           | 12  |
|     | 金沢区   | 43   | 40   | 3         | 36           | 7   |
|     | 港北区   | 67   | 74   | △7        | 64           | 3   |
|     | 緑区    | 36   | 16   | 20        | 30           | 6   |
|     | 青葉区   | 38   | 30   | 8         | 40           | △2  |
|     | 都筑区   | 40   | 18   | 22        | 33           | 7   |
|     | 戸塚区   | 51   | 45   | 6         | 49           | 2   |
|     | 栄区    | 17   | 20   | △3        | 17           | -   |
|     | 泉区    | 26   | 27   | △1        | 27           | △1  |
|     | 瀬谷区   | 22   | 28   | △6        | 27           | △5  |
|     | 合計    | 779  | 678  | 101       | 712          | 67  |

備考 過去10年間の平均の数値は小数点以下を四捨五入してあるので、合計と一致しない場合があります。

# 救急概況 <速報>

単位：件

| 区分\年別        | 令和7年      |     | 令和6年      |     | 増△減      | 増減比   |
|--------------|-----------|-----|-----------|-----|----------|-------|
|              | 件数        | 構成比 | 件数        | 構成比 |          |       |
| 出場件数         | 245,321   |     | 256,481   |     | △ 11,160 | △4.4% |
| 1日当たりの出場件数   | 672       |     | 701       |     | △ 29     |       |
| 出場率（何分何秒に1回） | 2分8秒に1回   |     | 2分4秒に1回   |     | —        |       |
| 市民の救急車利用状況   | 15人に1人が利用 |     | 15人に1人が利用 |     | —        |       |

※令和7年の人口については、令和7年12月1日推計値（政策局総務部統計情報課資料）による。

**事故種別別出場件数**

単位：件

| 事故種別    | 令和7年    | 構成比    | 令和6年    | 構成比    | 増△減      | 増減比   |
|---------|---------|--------|---------|--------|----------|-------|
| 急 病     | 170,052 | 69.3%  | 180,499 | 70.4%  | △ 10,447 | △5.8% |
| 一 般 負 傷 | 45,890  | 18.7%  | 47,011  | 18.3%  | △ 1,121  | △2.4% |
| 転院搬送    | 12,033  | 4.9%   | 12,051  | 4.7%   | △ 18     | △0.1% |
| 交通事故    | 9,032   | 3.7%   | 9,345   | 3.6%   | △ 313    | △3.3% |
| そ の 他   | 8,314   | 3.4%   | 7,575   | 3.0%   | 739      | 9.8%  |
| 合計      | 245,321 | 100.0% | 256,481 | 100.0% | △ 11,160 | △4.4% |

※その他とは、加害や自損行為などを含む。

**傷病程度別搬送人員**

単位：人

| 傷病程度    | 令和7年    | 構成比    | 令和6年    | 構成比    | 増△減     | 増減比     |
|---------|---------|--------|---------|--------|---------|---------|
| 輕 症     | 85,545  | 42.8%  | 93,869  | 45.2%  | △ 8,324 | △8.9%   |
| 中 等 症   | 97,198  | 48.6%  | 95,755  | 46.2%  | 1,443   | 1.5%    |
| 重 症 以 上 | 17,139  | 8.6%   | 17,843  | 8.6%   | △ 704   | △3.9%   |
| そ の 他   | 0       | 0.0%   | 4       | 0.0%   | △ 4     | △100.0% |
| 合計      | 199,882 | 100.0% | 207,471 | 100.0% | △ 7,589 | △3.7%   |

※その他とは、医療機関に搬送はしたが、受診拒否など傷病程度の示しがないもの。

**年代別搬送人員**

単位：人

| 傷病者年代区分           | 令和7年    | 構成比    | 令和6年    | 構成比    | 増△減     | 増減比    |
|-------------------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|
| 新生児・乳幼児（0歳以上7歳未満） | 10,781  | 5.4%   | 12,883  | 6.2%   | △ 2,102 | △16.3% |
| 少年（7歳以上18歳未満）     | 7,163   | 3.6%   | 7,833   | 3.8%   | △ 670   | △8.6%  |
| 成人（18歳以上65歳未満）    | 63,415  | 31.7%  | 65,416  | 31.5%  | △ 2,001 | △3.1%  |
| 高齢者（65歳以上）        | 118,523 | 59.3%  | 121,339 | 58.5%  | △ 2,816 | △2.3%  |
| 合計                | 199,882 | 100.0% | 207,471 | 100.0% | △ 7,589 | △3.7%  |

**行政区別救急出場件数**

単位：件

| 行政区  | 令和7年   | 令和6年   | 増減比   | 行政区 | 令和7年   | 令和6年   | 増減比   |
|------|--------|--------|-------|-----|--------|--------|-------|
| 鶴見   | 17,832 | 18,986 | △6.1% | 港北  | 19,677 | 20,313 | △3.1% |
| 神奈川  | 15,518 | 15,874 | △2.2% | 緑   | 11,017 | 11,838 | △6.9% |
| 西    | 10,638 | 10,807 | △1.6% | 青葉  | 15,233 | 15,857 | △3.9% |
| 中    | 17,996 | 18,603 | △3.3% | 都筑  | 10,580 | 10,984 | △3.7% |
| 南    | 15,257 | 15,534 | △1.8% | 戸塚  | 18,065 | 18,821 | △4.0% |
| 港南   | 14,910 | 15,542 | △4.1% | 栄   | 7,769  | 8,127  | △4.4% |
| 保土ヶ谷 | 12,798 | 13,481 | △5.1% | 泉   | 10,109 | 10,495 | △3.7% |
| 旭    | 15,823 | 16,995 | △6.9% | 瀬谷  | 8,117  | 8,816  | △7.9% |
| 磯子   | 11,007 | 11,674 | △5.7% | 市外  | 57     | 50     | 14.0% |
| 金沢   | 12,918 | 13,684 | △5.6% |     |        |        |       |

※令和7年中の出場件数の内訳及び搬送人員の数値は、速報値であり、確定値ではありません。

※構成比率は少数第2位を四捨五入しているため、表中の合計が100.0%にならない場合があります。